



旭川ユネスコ協会

第32回 ユネスコ作文 募集

戦争は人の心の中で生れるものであるから、 人の心の中に平和のとりでを築かなければならない

児童生徒の皆さんへ

皆さんは、この言葉を知っていますか。

ユネスコ憲章の前文に示されている「ユネスコの理念＝平和」です。

今ほど、この言葉の意味や重さを強く感じられるときはありません。皆さんの心の中にある「平和」について、作文を通して考えてみませんか。

旭川ユネスコ協会では、ユネスコ作文を通して、児童生徒の皆さんが、いつもお互いを認め、一緒に生活する「優しさ」や「思いやり」の心を持った人に成長してほしいと願っています。そして、世界の平和、地球の自然や環境と文化を大切に守っていこうとするユネスコの精神とともに、世界に羽ばたく「たくましい人間」に育ててほしいと、「ユネスコ作文」を募集してきました。

ぜひこの機会に、ユネスコ作文に応募して「世界のこと・社会のこと・私たちの未来のこと」を考えてみませんか。皆さんの作品をお待ちしています。

旭川ユネスコ協会

【小学生】

- ① 世界の平和について
- ② 地球の温暖化防止について
- ③ 東日本大震災・熊本地震など自然災害について
- ④ 友だち・家族について
- ⑤ ものを大切に
- ⑥ その他



SDGs



【中学生】

- ① 戦争やテロのない世界を（平和）
- ② 地球温暖化防止について（環境）
- ③ 発展途上国の子どもたちについて（国際理解）
- ④ 東日本大震災など自然災害と私（災害）
- ⑤ 高齢化社会を見つめて（福祉）
- ⑥ その他



応募の要項など、詳しいことは 学校に問い合わせして下さい。



写真は令和3年度 第31回ユネスコ作文表彰の様子です。



1 募集のねらい

旭川ユネスコ協会は、旭川市教育委員会の御協力を得て、平成3年度より児童生徒のユネスコ作文を募集してきました。

国連の下部機関としてのユネスコは、教育・科学・文化の各分野を通して、民族の垣根を越え、世界の平和と人類の福祉のために活動しています。

その活動の中でも、世界寺子屋運動、世界の自然遺産・文化遺産の保護活動の取り組みは、世界中の人々に広く共感されています。

21世紀の社会を担う児童生徒が、ユネスコ作文を通して、常に寛容と共生の心を持ち、世界の平和、地球の自然や環境と文化を大切に守っていかうとするユネスコ精神に理解を深め、たくましい人間に育ってほしいと願っています。

2 主 催 旭川ユネスコ協会

3 後 援 旭川市 旭川市教育委員会 旭川市国際交流委員会
(予定を含む) NHK旭川放送局 北海道新聞社

4 募集範囲 旭川市内 小学校4年生以上 中学生

5 作文の内容・題名等

題材は自由ですが、上記募集のねらいを反映したものや、下記の題材例等を参考にさせていただければ幸いです。

《 題材例 》

【小学生】

- ① 世界の平和について
- ② 地球の温暖化防止について
- ③ 東日本大震災・熊本地震について
- ④ 友だち・家族について
- ⑤ ものを大切に
- ⑥ その他

【中学生】

- ① 戦争やテロのない世界を (平和)
- ② 地球温暖化防止について (環境)
- ③ 発展途上国の子供たちについて (国際理解)
- ④ 東日本大震災・熊本地震と私 (災害)
- ⑤ 高齢化社会を見つめて (福祉)
- ⑥ その他

6 原稿枚数

小学生 400字原稿用紙 3枚程度

中学生 400字原稿用紙 5枚程度

※ 学校・学年・氏名(ふりがな)を題名の次の行に明記下さい。

7 応募〆切及び応募数

第1回〆切 2022年 12月20日(火曜日) 作品数制限なし
最終〆切 2023年 1月30日(月曜日) 各校10作品以内

8 提出先 旭川市教育委員会 文化振興課気付 旭川ユネスコ協会
教育委員会文化振興課内のポストをご利用ください。

9 審査結果発表 2023年 2月20日(月曜日) 各学校に連絡します。

賞 最優秀賞(副賞) 優秀賞(副賞) 優良賞 佳作

10 表彰式 最優秀賞受賞者には当該校にて直接授与いたします。優秀賞以下の児童生徒には、各学校で授与をお願いいたします。

11 作文募集についての問い合わせ

和島徹男 (旭川ユネスコ協会事務局長) 電話 36-3508

安藤邦行 (旭川ユネスコ協会 理事) 電話 73-6064